

いま、あなたに 何ができるのか

すべての人が社会に貢献できる
生き方・働き方

社会起業大学 名誉学長
社会起業家フォーラム 代表
多摩大学大学院 教授
田坂広志

東日本大震災

それは

なぜ、起こったのか

日本は地震国だから

日本は島国だから

「科学的説明」

よりも大切なもの

「意味」

を感じる力

我々の中にある

共通の感覚

この大震災は

起こるべくして

起こった

混迷する政治

低迷する経済

共感を失った社会

倫理を忘れた経営

働き甲斐の無い労働

浮薄な文化

そして

大切なことを
忘れた

我々の精神

我々の中にあつた

共通の感覚

いつか、この国は
経済的破綻
に直面して

その大切なことに
気がつくのではないか

この感覚の中に

すでに潜んでいた

甘い認識

2 0 1 1 年

3 月 1 1 日

何が起こったか

政治、経済、社会、文化の
すべての破綻を
遥かに超え

やってきた
空前の危機

一瞬にして失われた

二万人を超える

尊い命

この事実の前に

言葉を失い

茫然と立ち尽くす

我々

この最も痛苦な時期にこそ

我々が
自らの心に
問わなければならない

大切な問い

この方々の命は

なぜ

失われたのか

この方々が
尊い命を賭して

我々に
教えてくれたものは

何か

それは

何か

この日本という国は
生まれ変わらなければ
ならない

この日本という国は
永く続いた
混迷の時代を超え

素晴らしい国へと
生まれ変わらなければ
ならない

そのことを

二万人を超える方々は
尊い命を賭して

我々に
教えてくれた

だから、いま

我々は

心に定めなければ

ならない

それは

ただ一つの思い

これから

何十年の歳月が経っても
決して風化することのない

一つの思い

いつの日か

我々は

必ず、語る

あのとき
この日本という国の

素晴らしい国への
再生が始まった

2011年3月11日

あの日

二万人を超える人々が
その尊い命を賭して

我々に

願いを託してくれた

そのお陰で

その尊い命のお陰で

我々は

立ち直ることができた

あの永く続いた
混迷の時代を超え

この日本という国は
素晴らしい国へと
再生することができた

いつの日か

必ず

そう語ろう

では、そのために

いま、我々が

為すべきことは、何か

この思いを風化させず

心に刻むこと

では
思いを風化させない
ためには

何が必要か

命を失われた
人々への
共感

では

共感とは

何か

共感とは

同情や憐憫とは

違う

共感とは

目の前にいる
一人の人間の姿が

自分の姿のように
思えること

大地震と大津波

人間を分け隔てない
出来事

年齢、性別、地位に関係なく
襲い掛かる災難

ほんのわずかな

人生の偶然

の違いで

自分もまた

被災者

になった
のではないか

ここにいる
誰もが

被災者

になった
のではないか

あの方々の姿は

自分の姿

ではないのか

あの方々の姿は

我々の姿

ではないのか

最愛の夫と
娘二人を失い

独りぼっちに
なってしまった

と悲しむ女性

がれきの中から
妻の乗っていた車を見つ
つけ

見つけてしまった

と嘆く男性

それは

我々の姿

ではないのか

共感とは

何か

あの方々は

そのことを

教えてくれた

では
その共感を胸に抱き

いま、我々が

為すべきことは、何か

為すべきことは

ただ一つ

目の前の仕事

その仕事に

深い使命感を抱き

高き志を重ね

心を込めて取り組むこと

その
日々の仕事を通じて

素晴らしい日本を
創る

我々は、いま

その決意をこそ

固めなければならない

我々は、いま

その思いをこそ

定めなければならない

その決意を固め
思いを定めたとき

すでに

我々の歩みは
始まっている

社会起業家

としての歩み

社会起業大学
社会起業家フォーラム
の理念

働くすべての人々が
社会起業家
となる時代

日本という国において
「働く」とは

「傍」 (はた) を
「楽」 (らく) に
すること

日本という国において
「企業」は

本業を通じて
社会に貢献する

最後に

申し上げたいこと

希望とは

何か

希望とは

悪しきことがあっても
いつか
良きことが起こる

という意味ではない

希望とは

すべての起こることは
必ず、良きことに
結びついている

という意味

我々は

この

東日本大震災を

いかなる眼差しで

見つめるか

我々は

この

東日本大震災を

必ず

希望

へと転じていく

終